

問1	明治初期、銀座に煉瓦造りの建物が並んだり、人々の間で牛鍋を食べる習慣が広まったりするなど、西洋の文化や生活様式が積極的に取り入れられて社会が大きく変化した現象を何といいますか。 （2025年 北海道公立入試 類似）			
	1. 文明開化	2. 富国強兵	3. 廃藩置県	4. 殖産興業
問2	明治政府が実施した地租改正において、土地の所有権を法的に認め、納税の義務を明確にするために政府が土地所有者に発行したものは何ですか。 （2026年 福島県公立入試 類似）			
	1. 地価が記された地券	2. 年貢の免除を約束する免状	3. 収穫量が記された地券	4. 耕作権を認める公地証書
問3	明治政府が1872年に鉄道を敷設したり、大規模な官営模範工場を設立したりした歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2019年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 欧米諸国に対抗し、経済を発展させて不平等条約の改正などを進めるため	2. 八幡製鉄所で生産された鉄鋼を、海外へ大量に輸出する経路を確保するため	3. ラジオ放送を通じて、新しい政府の政策を全国に普及させるため	4. シベリア出兵に必要な軍需物資を迅速に輸送する体制を整えるため
問4	産業革命が進展した結果、現代の経済の基礎となる仕組みが確立されました。工場や機械などの生産手段を持つ経営者が、労働者を雇って利益を追求するこの経済体制を何と呼ぶか。 （2022年 長野県公立入試 類似）			
	1. 社会主義	2. 資本主義	3. 封建制	4. 重商主義
問5	1870年代前半、明治政府が欧米の先進的な制度や技術を視察するために派遣した岩倉使節団には、最年少の女子留学生としてある人物が同行していました。アメリカでの長期留学から帰国後、日本の女子教育の地位向上を目指して女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設した人物は誰ですか。 （2020年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 与謝野晶子	2. 津田梅子	3. 平塚らいてう	4. 樋口一葉
問6	明治政府が廃藩置県などの改革を通じて、地方の権限を中央政府へ集中させた目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2025年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 各地の旧藩主に引き続き地方統治を任せることで、新政府への反発を抑えること	2. 地方ごとに独自の法律や通貨を認め、各地域の特色を活かした経済発展を促すこと	3. 住民が選挙によって知事を選ぶようにし、地方自治の仕組みを早期に確立すること	4. 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること
問7	明治6年の政変において、西郷隆盛や板垣退助らが主張した征韓論に対し、欧米視察から帰国した大久保利通らが強く反対した。その際の彼らの主張内容として最も適切なものはどれか。 （2016年 北海道公立入試 類似）			
	1. 朝鮮との国交よりも、清との軍事同盟の締結を急ぐべきである	2. 武力を用いてでも朝鮮を開国させ、国威を示すべきである	3. 対外戦争を行うよりも、国内の産業や制度を整備して国力を充実させるべきである	4. 鎖国政策に戻り、外国との関わりを絶つことで国内の安定を図るべきである
問8	日本の近代国家形成の過程において、初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文の経歴や役割を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2017年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 天草や神戸など各地の開港を主張し、慶應義塾を創設して『学問のすすめ』を著した。	2. 明治政府の初代内務卿として権力を握り、学制や徴兵令、地租改正を主導して富国強兵を進めた。	3. 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。	4. 土佐藩出身の政治家として、民権運動を組織した。
問9	岩倉使節団の一員として欧米諸国を視察した大久保利通や木戸孝允らは、帰国後、当時の政府内で高まっていた「朝鮮に兵を送るべきだ」という主張に強く反対しました。大久保らがこの時に示した、日本の近代化を進めるための基本的な考え方はどのようなものですか。 （2024年 島根県公立入試 類似）			
	1. 海外への出兵よりも、地租改正や徴兵令などによる国内の整備と産業の育成を最優先する考え方	2. 江戸時代から続く幕藩体制を復活させ、地方の武士による統治を強化して秩序を維持する考え方	3. 国民の権利を認める憲法を早期に制定し、国会を開設して民意を政治に反映させることを最優先する考え方	4. 武力によって近隣諸国との外交問題を解決し、日本の国威を海外に示すことを最優先する考え方
問10	明治政府が強力な中央集権国家を樹立するために1871年に行った改革について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 （2022年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 土地の所有者に地券を発行し、収穫量ではなく地価の3%を現金で納めさせるようにした。	2. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、身分に関わらず国民皆兵の軍隊を組織した。	3. 全国の藩を廃止して県を置き、政府から派遣された府知事や県令が行政を担うようにした。	4. 旧藩主が土地と人民を天皇に返還し、引き続きその土地の知藩事として統治を続けるようにした。
問11	1871年に実施された地方行政制度の改革において、明治政府が中央集権体制を強固にするために、旧藩主に代わって中央から各県へと派遣した役職を何といいますか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 守護	2. 県令	3. 藩主	4. 將軍
問12	文明開化の時期に見られた、人々の生活の変化に関する説明として最も適切なものはどれですか。 （2026年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 伝統的な武家屋敷が推奨され、都市部で日本建築が急増した。	2. 太陽暦（新暦）が採用され、一週間を7日とする制度が始まった。	3. 庶民の間で、丁髷（ちょんまげ）を結うことが改めて義務付けられた。	4. 鎖国体制を維持するため、外国語の学習が厳しく制限された。
問13	1870年代後半の日本において、各地で発生した農民一揆や士族の反乱の影響を受けて実施された、租税制度に関する変更内容として正しいものはどれですか。 （2024年 山梨県公立入試 類似）			
	1. 地租の納税方法を、現金による納入から、米による物納へと戻した。	2. 地租を廃止する代わりに、所得に応じた所得税を全国民に課すこととした。	3. 地租の税率を、地価の3パーセントから2.5パーセントに引き下げた。	4. 地租の税率を、収穫高の3パーセントから2.5パーセントに引き下げた。